



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 アクリーティブ株式会社

コード番号 8423 URL <http://www.accretive.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 向井 徹

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 菅原 猛

TEL 03-5667-1760

四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,091	7.8	643	△4.7	729	4.0	620	△4.0
24年3月期第3四半期	1,940	17.6	674	90.0	701	81.1	646	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 619百万円 (△4.1%) 24年3月期第3四半期 645百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1,430.72	1,430.64
24年3月期第3四半期	1,490.77	1,490.77

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	18,457	2,634	14.0	5,951.85
24年3月期	17,300	2,015	11.3	4,523.98

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 2,580百万円 24年3月期 1,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,889	10.4	882	17.0	900	14.8	824	16.4	1,901.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	433,630 株	24年3月期	433,630 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	— 株	24年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	433,630 株	24年3月期3Q	433,630 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災からの復興が徐々に進み、緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州財政危機を背景とした国際金融不安や中国を始めとした新興国の景気後退、更には円高の長期化といった懸念すべき事項も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。しかし、政権交代を契機に金融緩和策等の大規模な景気対策への期待感から円安、株高基調となるなど、将来の見通しに明るさも見え始めました。

このような環境の下、当社グループは金融サービスとアウトソーシングを融合させたフレックスペイメントサービス（FPS）の更なる推進を図るために、「売掛債権の早期買取サービス」、「支払い業務等のアウトソーシング」、「オーダーメイドの金融サービス」を3つの大きな事業の柱として取組んでまいりました。

「売掛債権の早期買取サービス」、「支払い業務等のアウトソーシング」については新たな提携先3社との間で新規に契約を締結し、サービスの提供を開始しました。また「オーダーメイドの金融サービス」として、当社独自の仕組みで、フランチャイズチェーン店向けのファイナンスサービスの提供を開始することとなりました。

資金調達面では、平成24年12月28日付で総額13,000百万円のシンジケートローン契約を締結し、安定した債権買取資金の確保が可能となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、債権取扱高104,219百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業収益2,091百万円（前年同四半期比7.8%増）、営業利益643百万円（前年同四半期比4.7%減）、経常利益729百万円（前年同四半期比4.0%増）、四半期純利益620百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

債権取扱高及び営業収益については、順調に推移しております。一方で、前連結会計年度では第4四半期連結会計期間に計上していたシンジケートローン組成費用を当第3四半期連結会計期間で計上したことにより、販売費及び一般管理費が前年同四半期に比べて大きく増加いたしました。その結果、受取配当金の増加により、経常利益は前年同四半期を上回っているものの、営業利益及び四半期純利益については一時的に前年同四半期を下回っております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,157百万円増加し、18,457百万円となりました。これは主に買取債権の増加によるものであります。なお、債権売却によってオフバランスされた買取債権残高は3,182百万円であります。

負債については、前連結会計年度末に比べ538百万円増加し、15,822百万円となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。

純資産については、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ619百万円増加し、2,634百万円となりました。

#### (連結キャッシュ・フローに関する定性的情報)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、買取債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ1,244百万円減少し、2,761百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は1,564百万円（前年同四半期比34.1%減）となりました。これは主に買取債権の増加によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は194百万円（前年同四半期は2百万円の使用）となりました。これは主に投資有価証券の取得によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は514百万円（前年同四半期比63.2%減）となりました。これは短期借入金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月7日付決算短信で発表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更  
(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,256,012	3,011,475
買取債権	11,652,371	13,586,454
売掛金	77,905	91,871
その他	282,778	353,350
流動資産合計	16,269,068	17,043,151
固定資産		
有形固定資産	544,000	514,983
無形固定資産	19,341	131,042
投資その他の資産		
その他	467,765	768,600
投資その他の資産合計	467,765	768,600
固定資産合計	1,031,107	1,414,627
資産合計	17,300,176	18,457,779
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	14,440,505	14,954,505
未払法人税等	6,814	81,817
預り金	533,038	428,391
賞与引当金	16,208	5,396
その他	258,918	324,226
流動負債合計	15,255,483	15,794,337
固定負債		
その他	28,961	28,542
固定負債合計	28,961	28,542
負債合計	15,284,444	15,822,879
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,221,823	1,221,823
利益剰余金	734,413	1,354,816
株主資本合計	1,956,237	2,576,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,493	4,258
その他の包括利益累計額合計	5,493	4,258
新株予約権	54,000	54,000
純資産合計	2,015,731	2,634,899
負債純資産合計	17,300,176	18,457,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業収益	1,940,028	2,091,688
金融費用	237,944	227,818
販売費及び一般管理費	1,027,115	1,220,637
営業利益	674,968	643,232
営業外収益		
受取利息	263	344
受取配当金	823	54,674
受取地代家賃	17,433	24,693
その他	14,587	18,674
営業外収益合計	33,108	98,386
営業外費用		
貸貸費用	6,510	11,691
その他	—	91
営業外費用合計	6,510	11,782
経常利益	701,566	729,836
特別利益		
投資有価証券売却益	—	6,598
特別利益合計	—	6,598
特別損失		
減損損失	47,000	24,000
その他	3,343	192
特別損失合計	50,343	24,192
税金等調整前四半期純利益	651,222	712,243
法人税、住民税及び事業税	6,672	95,154
法人税等調整額	△1,893	△3,314
法人税等合計	4,778	91,840
少数株主損益調整前四半期純利益	646,444	620,403
四半期純利益	646,444	620,403

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	646,444	620,403
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,125	△1,235
その他の包括利益合計	△1,125	△1,235
四半期包括利益	645,318	619,168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	645,318	619,168



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	651,222	712,243
減価償却費	15,122	22,308
減損損失	47,000	24,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,175,035	△14,988
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,654	△13,112
受取利息及び受取配当金	△1,087	△55,018
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△6,406
買取債権の増減額(△は増加)	△4,456,505	△1,934,083
未収入金の増減額(△は増加)	251,989	△8,505
長期営業債権の増減額(△は増加)	10,067	△310,325
長期未収入金の増減額(△は増加)	1,624,907	215,621
未払金の増減額(△は減少)	28,913	11,042
預り金の増減額(△は減少)	657,317	△210,895
前受収益の増減額(△は減少)	41,872	48,430
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,164	2,879
その他	△53,287	△64,673
小計	△2,367,992	△1,581,482
利息及び配当金の受取額	1,087	55,018
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△7,034	△37,704
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,373,940	△1,564,168
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△10,219	△5,575
無形固定資産の取得による支出	△4,700	△35,212
投資有価証券の取得による支出	△203	△190,680
投資有価証券の売却による収入	—	11,270
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	36,790
子会社株式の取得による支出	—	△18,854
差入保証金の差入による支出	△2,506	△184
差入保証金の回収による収入	7,219	14,093
預り保証金の返還による支出	△95	△6,017
預り保証金の受入による収入	7,913	—
その他	42	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,549	△194,368
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,489,955	514,000
長期借入金の返済による支出	△94,400	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,395,555	514,000
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△980,934	△1,244,537
現金及び現金同等物の期首残高	2,878,434	4,006,012
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,897,499	2,761,475

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。